

平成 29 年度ミャンマー電力エネルギー省 (MOEE) に対する現地セミナーの実施について

当調査会では、会員各社のご協力のもと、アセアン (ASEAN) 諸国の電気事業者向けに人材育成などの基盤整備のための協力事業を実施しております。

ミャンマー電力エネルギー省 (MOEE) に対しては、「現地セミナー」として日本の電力分野の専門家を現地に派遣するプログラムを、また、「受入研修」として研修生を日本に招くプログラムを、それぞれ平成 17 年度 (2005 年度) から実施しております。

平成 30 年 1 月末から 2 月初頭にかけて、九州電力株式会社様および沖縄電力株式会社様のご協力のもと、第 13 回目の「現地セミナー」をミャンマーで開催いたしました。その概要は次の通りです。

- セミナーの期間： 2018 年 1 月 29 日 (月) ～2 月 2 日 (金)
- セミナー開催地： ミャンマー ネピドー
- ミャンマー側機関： ミャンマー電力エネルギー省 (MOEE)
- セミナーテーマ： 既設ガス火力発電所の発電量向上策、水力発電のリハビリ
- 日本側参加者： 専門家 4 名 (九州電力株式会社 2 名)
(沖縄電力株式会社 2 名)
事務局 2 名 (海外電力調査会)

セミナーには、MOEE から延べ 50 名 (火力 25 名、水力 25 名) が参加し、活発な討議が連日行われました。



セミナー会場での集合写真 (火力)



セミナー会場での集合写真 (水力)